

## ■上士幌町総合戦略 第4回推進会議兼第8回検証会議 議事概要

### ◇日時

令和元年12月3日13:30～16:00

### ◇場所

上士幌町生涯学習センター“わか”会議室1(2A2B)

### ◇司会

事務局 福原主幹

### ◇欠席者

- ・上士幌町林業振興対策協議会 中田委員
- ・上士幌町観光協会 市田委員
- ・北海道大学 森教授
- ・社会医療法人北斗 堀江委員
- ・市街地区行政区長連絡協議会 工藤委員

### ◇代理出席

- ・上士幌町社会福祉協議会 馬場氏(鈴木委員)

## 1. 開会

事務局 福原主幹より、第4回推進会議の開会挨拶。

## 2. 町長あいさつ

上士幌町 竹中町長より挨拶。

- 地方創生2015年から4年半が過ぎ、5ヵ年計画の最後年である。第I期の評価について検証したい。
- 第II期に向けて、人口減少の克服、地域経済の活性化に向けた取組方針の詳細が国より示される予定である。国の方針を意識して、上士幌町としての地方創生のあり方を皆様の意見を聞きながら作成したい。
- 目標としていた指標は概ね達成しているが、具体的に計画がどのように実行され、どのように機能したのか、評価・検証したい。また、どこに課題があったのか、次の課題は何かを確認したい。
- この後の検証の中では、当初計画の目標を達成し、大きな成果をあげている部分が多くありますが、委員それぞれの立場から多くの意見を頂き、また、議会、パブリックコメントを経て、第II期の精度をより高いものに仕上げていきたい。よろしくお願ひしたい。

## 3. 第II期上士幌町総合戦略の策定について

資料1・・・上士幌町人口ビジョン・第II期総合戦略(素案)

資料2・・・総合戦略の目標達成に向けた施策および重要業績評価指標(第I期比較表)

(参考資料)

- ・まち・ひと・しごと創生基本方針2019について
- ・上士幌町人口の動き

### 【資料1 説明】

上士幌町人口ビジョン・第II期総合戦略(素案)について、事務局 福原主幹より説明

- ・赤字部分が第I期からの改訂部分
- ・目次から人口ビジョン考察までの説明
- ・検証結果についての総括、達成率の低い事業について各担当課より状況説明

【町長】

- 総合戦略の成果として最も重要なことは人口減少の抑制である。ただし、日本全体の人口が減少していることから減少に歯止めを掛けることは困難なことである。
- 具体的な施策によって、地方から都市部への人口流出を抑制し、地方に雇用の場を作り、地域経済を活性化し、高齢化に歯止めを掛ける。
- 具体的なKPI、数値目標を立てて数量的に評価することが重要である。ひとつひとつの事業の積み重ねが成果につながっている。
- 年に2回、上期と下期に検証し、5年間の成果について皆様からご意見を賜りたい。
- 人口増加などは町内では気が付かない部分もあると思いますので、マスコミの視点で勝毎、道新から評価や課題について、いかがでしょうか。

【十勝毎日新聞社 平田委員】

- 所得増加について、根拠となっている資料と増加をどのように分析していますか。
- 5年間でたいへん大きな伸び率です。移住する際に収入はボトルネックになることが多いので、伸びた要因を詳細に調べて次の戦略に活かすと良いと思います。

【町長】

- 総務省から出されている資料になります。町民一人あたりの所得です。(課税対象所得を納税義務者数で除した額)
- 所得の増加は住民税の増加にもつながっています。財産が増える事で固定資産税も増えています。基幹産業である農業の影響が大きいと考えています。賃貸住宅建設、農業基盤整備、農業従事者給与を中心として産業が活発になっていると考えています。

【北海道新聞社 和田委員】

- 総体的にKPIの進捗率と5年間の成果はどのように考えていますか。

【町長】

- 全体的に概ね達成しており、98.5%の達成になります。達成した所は、100%を超えて、200%、300%と成果が上がっています。ひとつひとつの積み重ねが結果につながっています。
- 所得の全国平均増加率は3~4%ですが、本町は20%を超えた極めて高い数値です。これは給与所得ですから、総所得で行くと500万円程度になります。500万円は、地方創生の関係で、子育て教育する上で必要な年収の目安になります。さらに本町では様々な子育ての施策があることで、この町で安心して暮らすことが出来る、安心して子育てしていくことが出来るということになるだろうと思います。
- 農業が元気です。法人化により働き方もワークライフバランスがとられており、従来の農業のイメージから変わってきています。その辺も含めて都市部から若い人が来ていると思っています。
- 企業版ふるさと納税が未達成ですが、使い勝手が悪く当面は断念しようと途中で政策変更をしています。

【北海道新聞社 和田委員】

- 農業収入が押し上げているとの事ですが、どれくらいと見ているのですか。

【町長】

■個別には出していませんが、農協の取扱量が約300億円になると思われます。大型の法人も含めて約170戸になります。

【帯広信用金庫 平岡委員】

■色んな事業をしており、地元企業の受注額が増え、販売が増えというのは感じます。数字は見えてませんが、取得が増えているというのは、感覚的に感じています。

【十勝信用組合 鈴木委員】

■様々な企業に行き、工事等があつて売上げが伸びているのを感じます。それと同じく、人手不足が深刻化しています。ある企業でも外国の方を従業員として使いたいというのが話題にあがっていました。

【町長】

■具体的に投資に対する融資の希望が増えてきています。新しいことへの挑戦。更に目標を立てて、設備投資をしたいということが、ここ数年顕著になってきています。これもやはり地域の経済の実態であり、頑張っている状況になると思います。

【上士幌町商工会 小寺委員】

■KPIの件で、空き店舗等の新規開業等の5件はハードルが高かったと思います。商工会の調査でも、意思決定できない商店主が多く、空き店舗としての計画が立てづらかったです。起業のハードルも高く、今後は「まちづくり会社」で起業塾等の勉強会を開催します。

■地方にも仕事はあり、地方ならではの魅力的な仕事を情報発信していくとことが、課題だと思います。

■人手不足は、商工関係にとって事業継続していくうえで死活問題である。近年、各周辺の商工業者の知り合い、話し合いの中で毎回出てくる内容である。

【上士幌農業協同組合 小椋委員】

■上士幌町の魅力が認められていると思う。人口増にもなって、事業展開もしています。その評価が転出より転入が増え、所得が増え、そのことによって働く世代の若者世代が本町に来ている。そうなれば、町の活性化になっていきます。そのことが対外的に認められていると思います。話題性がなければ、その町に住みたいとか、魅力を感じるといった面は、なかなかそういう人っていない。その辺の外部から見て、上士幌町に対する見方、あるいは評価が高くなっている。総合戦略の中でも大いに評価していいのではないかと思います。

■所得に関しては、農業関係者の給料は以前より、プラスになっていると思います。それが町内の数字を押し上げている要因にもなっています。固定資産税は農業関係の税収というのは大きなウエイトを占めていると思います。

■地方創生でどこの町もいろんな事業を展開し、新規事業を模索していると思います。現状の上士幌町もそうですが、今後においても他の町村とは違うんだという、魅力ある、認められる事業展開が必要です。それは鋭意協議していかなければ、これだというものはないと思います。今で満足したんでは、どこの町村もそこを目指していますので、是非とも今後ともこの点を留意されて企画を取りすすめて頂ければと思います。

【上士幌町校長会 近藤委員】

- 町外の学校は、6年生4クラスが卒業し、1年生2クラスが入学のような状況で子供が減っている状況です。本町は卒業する子供と入学する子供が変わりません。また、転校してくる子供も沢山います。上士幌は、子育てがしやすいということが一番なんだと思います。仕事があり、住みやすいという、若い人が憧れるまちになってきているとすごく感じております。
- 子育て時代はあっという間に過ぎてしまいます。子育てが終わったら、違うまちに行こうかではなく、ここに住んでまちのためになにかしたいと、次へ進むような魅力、仕事だけじゃなく、住む良さがさらに進むようなものがあればいいのかなと思います。

【よちよちひよこサークル 臼井委員】

- 子供が伸び伸び遊べる広い公園が欲しいです。子供が運動する場や大人も運動できる場があればいいなと思います。
- 子宮がん検診、乳がん検診の受診率が低いのは、対策を考えていますか。

【町長】

- 数値目標が高く、女性の方々が健診することによって、家族の健康をしっかり守っていこうという趣旨でした。特に女性のがんに特化してキャンペーンをやっています。結果は平均よりもずっと高いんですが、目標設定が高すぎました。見直しする計画です。

【すまいるはあと 原口委員】

- 子宮がんと乳がんの検診受診率について、私も受診はします。しかし指定の病院ではなく、かかりつけの病院で受診します。補助の出る病院ははじめてなので抵抗があります。気持ち的にハードルが高いです。補助が出るのは知っていますが、かかりつけを優先します。なので潜在的な受診率をもっと高いのかもしれない。また、領収書等による助成も検討してほしいです。
- 子育てしやすいと感じる割合の所なんですけど、中学生や高校生のデータは無いでしょうか。高校生のお子さんがある方に聞くと、町外から上士幌高校に通う支援は多いが、町外に通う支援がなく厳しいと聞く。スポーツをしている子供等は町外の高校に進学し、通うのが大変で親も子どもと一緒に出て行ってしまう。それを止める方法があればいいなと思います。

【町長】

- 子宮がん検診等については、担当課と課題については整理していきたいと思います。
- 高校存続といった問題もあり、担当課と課題については整理していきたいと思います。
- 総合戦略の視点ということで他にありませんか。人口が増加したまちは少なく札幌市ほか10ぐらいしかないが、これで良しとはならない。これを踏まて、次期総合戦略に入っていきます。

【資料1 説明続き】

- 上士幌町人口ビジョン・第Ⅱ期総合戦略（素案）について、事務局 福原主幹より説明
- ・ 前回説明したアンケート調査の概要説明
  - ・ 転入転出アンケート調査の説明

【上士幌町社会福祉協議会 馬場氏（鈴木会長代理）】

- 上士幌に転入してきた方のアンケートを見ると、病院や買い物の関係が課題として出ていますが、古くから住んでいる方も同様の課題を抱えている方が多くいて、社会福祉協議会も地域の方の各種サロンや病院などの移送サービスなどを行っています。高齢化していくと、車を運転できない方も増えてくると思います。子どもたちから高齢者まで安心安全に生活できるような、色んな仕組みづくりをこれから町と一緒に、社会福祉協議会も取り組んでいきたいと思います。

【上士幌福寿協会 山口委員】

- アンケートの結果で、転入してくる子育て世代が多いのは、子育ての環境が整っていることの表れだと思います。職場にも若い子が入って来ているが、町外からの通いが多い。アンケート結果にある娯楽が少ないというのが、若い人の率直な感想だと思います。NHK で若い人が転出するという部分で、仕事や給料に不満はないが、遊ぶところが少ない。当然、田舎から帯広へ、帯広は札幌へ、札幌は東京へといった形で、若者が定着していかない。子育て世代は上士幌にくるけれども、更に若い所が顕著に表れていると思います。
- 人材不足の関係では、介護の人材に特化した外国人関係になります。特定技能1号で5年間日本に滞在できる制度が、入管法の改正で4月以降施行されています。日本での受入体制は整っているんですが、出さ国の方がまだ整理されていません。一番早くてフィリピンという情報が流れています。留学生や実習生は既に入ってきています。特定技能労働者については、これからで、来年4月以降でなければ雇用が難しい状況です。これからは雇用確保が難しいので、外国人に頼らなければならない部分は出てくると思います。

【町長】

- 商工会女性部のほうから、難しい話ですが、

【上士幌町商工会女性部 森岡委員】

- 上士幌は子育てがしやすく、上士幌が良くて、若い世代の方が移住されてきていると思います。子育て世代の方は一生上士幌に住もうと思って住宅を建てるとしています。子供が小さいころはキャンプなどの自然を体感できる所、糠平の良い自然や色々な事を体験できる場所、そういった資源も豊富だと思います。上士幌の魅力を若い世代の方にもっと発信して、上士幌で遊び、上士幌に住んで、上士幌で仕事して、上士幌で買い物して、上士幌で食べてが、うまく展開出来たらいいと思います。
- バローンカードがいっぱいになると、お子さん1人に付き5000円の商品がもらえます。交換率も高く、商品券は地元で利用することになるので、少しずつ若い人達も地元になじみ、買い物とかも上士幌の魅力をもっと若い人達に伝えるような取組みが商工会も必要だと思っています。

【上士幌町農業協同組合女性部 橋本委員】

- 今年家を建てて、商品券があたって、いっぱい使わせてもらいます。どこで何を買ってと考えているんですが、上士幌に家族で遊ぶ所が無いかもしれない。道の駅が完成したらそこでみんなで遊べるのかなって楽しみにしています。

【上士幌町連合PTA 嘉藤委員】

- 転入転出の理由で転出の人は“都会に行きたいから”っていうのがすごく少ないというのが驚いたのと、仕事の都合で転入される方、転出される方がいるということは、上士幌も仕事や雇用がしっかりしていれば、他から雇用が出来るのかなと思いました。

- 上士幌の魅力を発信していく、他の地域に対してと、小学生、中学生に対しても、いずれ社会人になるので、そこを対象として、発信しています。子供達に働く車を見せるとか、上士幌の仕事に少しでもふれ合える機会を頂たり、今年度は中学2年生が職業体験していて、上士幌の職業を体験できる機会是非常にありがたいと思っています。未来につながるような取組みを継続してほしいです。
- 人口増があるということは雇用もあると思います。建設業をやっているが、人手不足が問題です。町の対策として、生涯まちづくりで施策を立てているようですが、それを利用している方は何人ぐらいで、年齢層なども教えてください。

#### 【町長】

- 人材センターの部分ですね。無料職業紹介所もやっています。人材センターに登録している人は30数人です。長期だけでなく、除雪や庭清掃のちょっとした仕事もあります。実績としては200件以上の仕事をしています。要望に追い付かない状況になっています。
- 無料職業紹介所の方は、まちづくり会社が窓口になって、企業と個人のマッチングをしています。
- もう一つ都会の話ですが、高校・大学を卒業して都会で生活したいというのは、上士幌の子どもだけでなくすべての子供にある事です。しかしながら、やがてUターンで帰ってくる。そのために郷土に対する愛着を学ぶ。一方では仕事はしなければならない。こういう受け皿を作っておくのが、中長期にわたって非常に大切な事だと思います。

#### 【十勝総合振興局 鳥井委員】

- 管内推進会議の半分くらい出ていまして、上士幌のように社会増のある町は一つもないです。道でも極めてうまく回っていると評価しています。
- 転入する理由の一番多いのが仕事の関係であり、転勤なり就職なりで各町に住むことになるという人は上士幌に限らず、どこの町でも比率は高いです。調査の中で、子育てや保育料、医療費無料、福祉の充実、この辺りを理由にして上士幌を選ばれているというのが、社会増のひとつの要因だと思います。それを可能にしているのが、ふるさと納税の財源だと思います。各町が切磋琢磨して魅力的な返礼品である程度呼び寄せようとしています。その辺の競争がより一層高まってくると、財源が未来にもあるとは限らないので、自立的な仕組みにどの地点かで切替が必要だと思います。
- 上士幌も人手不足が進んでいるということですが、これも各町とも影響している所です。担い手がこのまま不足して行って、その企業が継続、存続していけるのか、そのあたりは各業界団体や各事業者が、どの様にして人手を確保していくか。どこかの場面でシフトしていかなければいけないのかなと思っています。上士幌は人が入って来る、しかも若いというか子供達が入って来る。これは非常に財産です。その子供達にいかにかこの上士幌の郷土愛というものを根づかせて将来的に戻ってくるという感じに育てて行くようにしていただければと思います。就職適齢期になって外に出て、結局人口が減ってしまったとならないように、郷土学習を上士幌でもやられたらと思っています。

#### 【町長】

- 働き方改革によって、働き方が変わってきている。テレワークやワーケーションなど働きながら、地方のほうに今までにない、マイナス要素がプラス要素になる可能性があると思います。
- そういった意味で働く側から見て、アンケートを見ながら、地方が元気になっていくために何か連合からの感想はどうですか。

【上士幌地区連合会 堀越委員】

- 根本的な所は働く所という形になると思っています。私は帯広からの通勤です。連合のほとんどが町外からの通勤が現状です。ここで官舎を借りて生活をしている組合員に聞くと、買い物に帯広、音更に行ってしまう。上士幌の町で買い物するようにと話はするんですが、そうはならない。買い物する選択肢が少ないという話は以前されました。そういう所からいうと、やはり街に魅力を感じないし、町で生活すると、不便ということが率直な意見だと思います。連合の執行委員会の時も、話があった中ではそう感じています。

【町長】

- 距離のハンディキャップという、埋めようのない距離の解決をいかにするか。
- 次に進みたいと思います。これまでの取組みと事業所並びに転入転出者のアンケートを踏まえて、更に国が骨子として掲げている第Ⅱ期の方針、これらを踏まえながら、上士幌としての第Ⅱ期の総合戦略(素案)を説明していただきたいです。

【資料1 説明続き】

上士幌町人口ビジョン・第Ⅱ期総合戦略(素案)について、事務局 福原主幹より説明

- ・総合戦略の基本的考え方等の概要説明

【資料2 説明】

第Ⅱ期総合戦略(素案)について、各担当課より説明

- ・施策とKPIの設定等について第Ⅰ期との比較を交えて基本目標1の概要説明

【町長】

- ボリュームがありますが、農林業、建設業、商工観光、再生可能エネルギー等、KPIの数値目標を決めるときには、それぞれの団体から計画を聞いて、ヒアリング等を参考にしたうえで決めています。最初からこれでは無理だという努力目標でも届かないとか、もう少し数値目標高くてもいいんじゃないかといったものなど、あれば指摘いただきたい。
- 特に当事者であります農業の関係、商業の関係は問題ないですか。

【上士幌町商工会 小寺委員】

- 商工会員についてです。KPIの現在157の会員ですが、2会員増えて、159会員になっています。29年度の時点で回復しています。新しいお店も出来て、勢いがある状況になっています。
- 雇用についてです。外国人の雇用で農業と福祉関係は進んでいますが、建設業は始まっています。情報が一気に増えています。ベトナムや中国で労働者というのが今までは中心だったんですが、ここにきてミャンマーからの情報がたくさん入るようになりました。技術職員が可能でスキルの高い人達を派遣してくれるという情報が多く入ってきています。例えばまちとして、外国人を農作業以外に使うということ、まちづくり会社が窓口になるように発展したら、外国人の雇用も一気に増える可能性があると思います。外国人に限らず、IターンとUターンを進めるためには支援が必要です。可能性がかなりあると思います。

【町長】

- 雇用の問題は、前回も含めて、かなり深刻な課題と受け止めています。
- 町では、無料職業紹介所、上士幌版のハローワーク、人材センターをやっていますが、それでは足りない。

- 農協の方で窓口になって送り込んでいた農家の出面さんが、高齢者になって人手がいなくて解散しました。今民間との関係で派遣業者が1社ありますが、ここは外国人を対象とした派遣をするということです。
- 商工会長から話がありましたが、町ぐるみで何か体制をとらないと、発信力が足りなかったり、もちろん仕事を目的に来ますけれども、合わせて住まいの事や、子育ての事、全部セットになって初めてその町に行こうかというようになってくると思っています。そう考えると、それに対する支援も検討する必要があると思っています。
- 就業を頼む側も働く側もプラスになるようなことができないかと、将来的なことも含めて課題のひとつと感じています。
- 極めて大事な持続的なまちづくりをする上で、再生可能エネルギーの利活用は非常に大きなポイントになります。環境問題、温暖化問題、持続可能なまちづくりをどうするかという重要なポイントであります。

#### 【資料2 説明続き】

第Ⅱ期総合戦略（素案）について、各担当課より説明

- ・施策とKPIの設定等について第Ⅰ期との比較を交えて基本目標2～6の概要説明

#### 【町長】

- 第Ⅰ期を踏襲した計画であり、新たなキーワードはICT、情報通信になります。情報通信は様々な産業分野で活かしていこうを考えています。
- 人口ビジョンについては、第Ⅰ期に作った目標と変わりはない。次の5年間も社会増65人とかなりハードルが高い数値ではあります。
- 関係人口が新しい考え方です。個人の移住定住から、企業との関係を深めていくとか、そのような事も出てきています。
- 以上のように次期総合戦略を更に煮詰めていきたいと考えております。今日の意見交換については、以上とします。今日は検証で少し時間がかかりました。5年間の成果であり、評価になります。今回の戦略は数値目標を出しておりますので、それに照らし合わせて評価した結果を検討したうえで、次期に反映しようと思います。

#### 4. その他

なし

#### 5. 閉会

上士幌町 竹中町長より挨拶。

- この素案を更に煮詰めていきたいと思えます。何点か重要なテーマ、雇用の問題などございますが、改めてこれらを含めて、補足して、皆さんにお諮りしたいと思います。
- 今日は2時間半以上にわたって審議して頂きました。どうか皆さんよいお年をお迎えください。

事務局 福原主幹より、閉会挨拶。

- 検証会議という形で資料をお渡ししておりますが、先ほど推進会議の素案の中でKPI等の振り返りなどもさせて頂きましたので、また頂いた意見も参考とさせていただきますながら、総合戦略の方はさらに作り込んでいきたいと思えます。検証会議の方はこちらで替えさせていただくということでご理解いただければと思います。本日は長時間にわたりありがとうございました。